



## SKI BUSINESS LETTER

---

株主・投資家の皆さまへ

2013年10月1日から2014年3月31日まで  
(第2四半期)

証券コード:9446



「お客様視点」で、  
事業を多角的に  
拡大・推進する  
エスケーアイグループ。

## 移動体通信事業

携帯電話通信機器の販売  
サービス拠点



お客様

## 保険代理店 事業

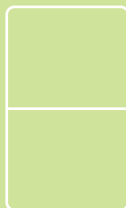
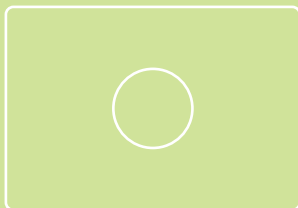
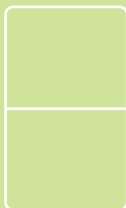
医療保険提案



## 葬祭事業

葬儀・法要





CONTENTS



1

事業領域

2

目次

3

トップ  
メッセージ

7

ショップ紹介

9

連結財務諸表

12

(株)エスケーアイ  
単体財務諸表

13

会社情報  
株式情報

14

株式情報  
優待案内

裏表紙

株主メモ

※業績の見通し等、将来の情報に関する注意事項

業績の見通し等、将来に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営陣が判断したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる可能性があります。

**変動する事業環境の中で  
着実に収益を確保。  
将来の成長に向けた  
戦略的な投資を推進。**

代表取締役社長  
酒井昌也



日本経済はデフレ脱却と円安効果が反映され、上場企業を中心に増益基調を維持し、多くの企業がベースアップを決定しました。一方で、消費税増税に加えて円安のマイナス効果による物価上昇に伴う消費マインドの低下が懸念されています。このような状況下で、当社グループは消費者ニーズに密着した顧客満足の施策に取り組むとともに、企業体質の継続的な改善・向上に努め、さらに将来を見据えた戦略的な投資によって安定した成長力を追求したいと考えます。

エスケーアイグループの当期のレビューと今後の展望をお伝えします。

**◆店舗数の最適化を進め、お客様満足の向上に注力**

まず、当社グループの基幹事業である移動体通信機器販売事業についてご説明します。携帯電話の市場は、普及台数が1億3,955万台(平成26年3月末)を超え、端末の買い替えサイクルの長期化や市場の飽和が進む中で、スマートフォンに関しては携帯電話の契約数の約半分を占めるなど順調な成長を維持しています。一方で、各通信事業者(キャリア)の顧客獲得に向けた競争が激化する中で、当社は積極的な営業活動を展開し、

スマートフォン及びデータ端末の販売とともに他キャリアからの乗り換えの獲得に注力しました。

また、中長期的な視点で店舗の集約・最適化と各店の総合力アップを図る一環として、小型店4店舗を閉鎖し2店舗を譲渡する一方、ファミリー層やビジネスマンを重視した店舗設計による6店舗の増床・リニューアル・レイアウト変更を実施しました。この結果、販売台数は新規・機種変更を合わせて93,112台（前年同四半期比10.6%減）となりました。

今期、特に重点的に取り組んだのは「お客様視点でのサービスの創出・向上」に向けた社員の意識改革です。その浸透・定着が“地域一番店”を目指す上で不可欠と考え、「カスタマーサービス部」を設置して研修・教育制度を大幅に強化し、成果を人事評価にも反映させるなど啓発に努めました。その結果、1店舗当たりの販売台数は前年同期比6.6%増加し、ソフトバンクが全国の代理店を対象に販売台数・お客様満足度などの「質と量」で評価する格付け制度で優良オーナーに認定されました。

## ◆新拠点の稼働と新商品の販売増で業容拡大

コールセンターによる保険代理店事業を展開する株式会社セントラルパートナーズは、本社（岐阜県大垣市）・東北支店（青森市）に続いて新潟支店（新潟市）を開設し、業容を拡大しています。各保険会社が多様なニーズに応えるがん保険や医療保険などを開発する中で、複数の商品の販売が順調にでき、売上高は498百万円（前年同四半期比1.9%増）と堅調に推移しました。

一方で、前期に開始したWOWOW、スカパー、ベルーナ様等と提携した保険募集企画のレスポンス率が低下し、契約の継続率が想定を下回った他、新潟支店の稼働に伴う販管費の増加などにより、営業利益は29百万円（前年同四半期比81.9%減）となりました。このため解約防止や継続率の改善に向けたフォロー体制を強化するとともに、コールセンターの対応品質を支える人材の拡充を図りました。

保険代理店業界は、金融庁の規制強化に伴い淘汰が進む中で、当社は昨年のプライバシーマーク取得後もコンプライアンスを強化し、業務効率の改善策を全体で共有することで、一人当たりの生産性は全国トップクラスを維持しています。この結果、保険会社や各企業から高い評価をいただき、新たにアクサダイレクトの新商品の取り扱いを開始するなど事業基盤の厚みを増しています。

### ◆地域での信頼度の向上が業績に反映

葬祭事業を展開するエスケーアイマネジメント株式会社については、「葬儀会館ティア」5カ所(西尾・桑名・東海・知多・碧南)で強力な営業力を発揮し、既存店舗の売上は前年同期比で約50%アップして318百万円を達成し、営業利益も12百万円を計上することができました。

また、今期も葬儀施行の母集団となる「ティアの会」会員獲得に注力し、「地域密着」を基本方針に、自治会や地域行事などに積極的に参画し、地元住民の皆様との信頼関係を構築しています。さらに企業・団体への継続的な営業活動及び既存会員様への働きかけにも努め、会員数は順調に推移しています。葬儀件数の増加とともに、スタッフが多くの経験を積み、葬儀施行の質も着実に向上していることから、成長軌道への道のりが見えてきたと考えています。

### ◆3事業の今後の見通し

移動体通信機器の販売については、各キャリアの製品性能やサービス、ネットワーク環境などの差別化は難しくなっています。また、普及率の増加による新規契約数の伸びが鈍化する状況下で販売競争が激化し、利益率の低下などの厳しい状況が当面続くと思われることから、当社は一層の店舗数の最適化を図りつつ、増床やリニューアルなどにより各店舗の営業力の拡大・効率化を推進します。同時に、大手代理店の中でもトップクラスのサービス品質を軸に、各種スマートフォン、タブレット端末やデータ通信端末の販売強化とともに、コンテンツやアプリケーションの販売も一段と強化して多様なニーズに即応し、“地域No.1店”を追求します。

保険代理店事業については、4月に本格稼動した新潟支店の体制を強化し、売上・収益の向上を追求します。また、今後も人材の確保、社員教育・研修に注力し、コールセンター機能の対応品質と生産性の向上に努め、保険契約後の解約防止・継続率の改善を図ります。管理面では、プライバシーマークの取得を機に個人情報の管理を含めて一層のコンプライアンスの強化に注力します。さらに高評価をいただいている健全性・信頼性をもとに、新たな企業との提携企画商品を推進し、保険会社・大量顧客保有企業・当社による共同募集方式により事業基盤の拡充を図ります。上期の改善項目は既に取り組んでおり、下期の利益計画は、予定通り推移できる見込みが立っています。

葬祭事業については、今後も地域に即した営業活動に注力するとともに、地域密着型イベントなどを通じて「葬儀会館ティア」を身近に感じていただくことで、会員数の拡大と施行受注に繋がっていきます。また、新規性に富んだイベントで参加者の増加を図ると同時に、幅広い施行規模・内容に応じた質の高いサービスの提供ができるよう社員教育に注力します。新規出店に関しては、営業基盤の拡充を図るべく、既存店の状況を分析しながら出店の時期・地域を検討してまいります。

## ◆メガソーラー発電事業を新たな収益の柱に

福島第一原発の事故を機に、国は再生可能エネルギーの普及促進に向けて「再生可能エネルギー全量買取制度」や「グリーン投資減税」などの施策を打ち出し、企業の売電事業への進出を促してきました。当社では、こうした動向を分析しつつ事業化の可能性を検討してきましたが、昨年11月に新たな成長戦略の一環として、メガソーラーによる売電事業に参入しました。

現在、和歌山県で大型発電施設の計画を進めるとともに、全国各地で日照条件・送電線との接続に適した土地の選定などの分析・検討も行っています。当社では、平成28年9月期までに累積設備額90億円程度を投資し、発電能力40メガワット、売上高15~20億円程度の事業展開を見込み、発電事業を長期にわたる安定収益の柱に成長させるべく、早期の稼働開始に取り組んでいます。

## ◆株主・投資家の皆様へ

当社グループは、マーケティングを重視したお客様視点のサービス向上と、各事業における一人当たりの生産性の追求により、堅実



な利益を生み出すグループ会社に成長してまいりました。変化の激しい経済環境こそ真価を発揮する好機と考え、社員一人ひとりがこれまで培ってきた経験・ノウハウを最大限に発揮し、さらなる飛躍に向けて一層の企業力の強化に邁進していく決意です。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

# 最前線で活躍するショップ紹介

集客力強化のため、店舗の移転リニューアルを積極的に推進しました。代表的な店舗を以下にご紹介いたします。

## ソフトバンク当知



### SHOP PROFILE

住 所：名古屋市港区  
甚兵衛通1-25-1  
オープン：2013年11月  
スタッフ：6名  
駐 車 場：7台

### ショップの特徴

2013年11月に増床リニューアルしました。接客スペースも地域最大級となり、ご家族連れの方でも快適に過ごせるようキッズコーナーも拡充し接客カウンターも5台に増設しました。



### 差別化への取り組み

小さいお子様連れのお客様でも安心して手続きができるファミリーカウンターや、スピーディーに簡単な手続きができるハイカウンターを設けました。お客様の目的に合わせた接客で、待ち時間の短縮にもつながっています。

### お客様へ一言

車でのご来店も非常に便利となっており、駐車場も店舗正面に4台、側面に3台ご用意しております。機種の操作説明、プランの相談などお気軽にお立ち寄り下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。



エリアマネージャー 栗田千裕



## au厚木妻田



### SHOP PROFILE

住 所：厚木市妻田北  
1-12-18  
オープン：2014年2月  
スタッフ：8名  
駐 車 場：6台

### ショップの特徴

2002年にオープンしてから約12年、沢山のお客様にご来店いただき誠にありがとうございます。当店は、「地域密着」をテーマにお客様により快適な空間をお届けできるように、2014年2月リニューアルオープンしました。



### 差別化への取り組み

近隣には家電量販店やショップが多数ありますが、どこよりもお客様に満足いただける丁寧かつ分かり易い接客に努めております。また、店舗スタッフの教育にも力を入れており、お客様に安心してご来店いただける店舗を目指しております。

### お客様へ一言

リニューアルによって店内が広くなり、接客カウンターを6台に増設しました。お客様をお待たせすることなく、各種手続きをご案内させていただきます。  
お近くに立ち寄られた際は是非お越し下さい。



店長 濱田隆輝

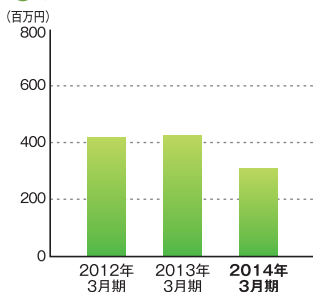
# 要約連結財務諸表(四半期)

## 四半期損益計算書(連結)

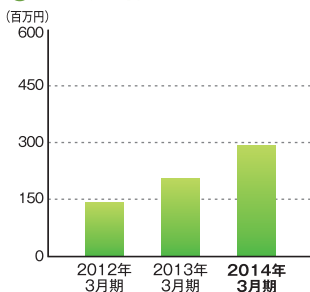
(単位:千円)

期間	2013.10~2014.3	2012.10~2013.3
科目	金額	金額
売上高	9,429,754	9,768,678
売上原価	6,985,397	7,305,536
<b>売上総利益</b>	<b>2,444,357</b>	<b>2,463,141</b>
販売費及び一般管理費	2,147,767	2,038,538
<b>営業利益</b>	<b>296,589</b>	<b>424,602</b>
営業外収益	28,211	13,958
営業外費用	16,864	16,656
<b>① 経常利益</b>	<b>307,937</b>	<b>421,904</b>
特別利益	262,867	70,233
特別損失	9,238	2,333
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>561,565</b>	<b>489,804</b>
法人税・住民税及び事業税	245,799	243,686
法人税等調整額	20,173	17,969
少数株主損益	3,259	25,742
<b>② 四半期純利益</b>	<b>292,334</b>	<b>202,406</b>

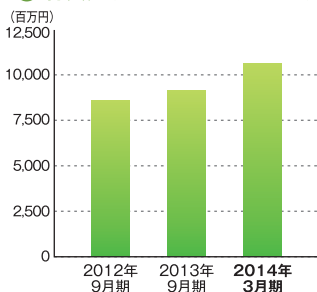
### ① 経常利益(第2四半期連結累計期間)



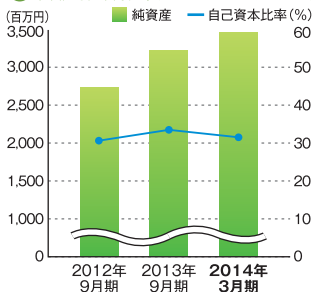
### ② 四半期純利益(第2四半期連結累計期間)



### ③ 総資産(第2四半期連結会計期間末)



### ④ 純資産・自己資本比率(第2四半期連結会計期間末)



## 四半期貸借対照表(連結)

(単位:千円)

期別	2014.3.31 現在	2013.9.30 現在
科目	金額	金額
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,305,291</b>	<b>4,398,934</b>
現金及び預金	2,381,762	1,871,789
売掛金	2,672,217	1,435,131
商品・貯蔵品	961,012	904,888
繰延税金資産	79,539	86,839
その他	210,760	100,285
<b>固定資産</b>	<b>4,283,710</b>	<b>4,636,997</b>
有形固定資産	2,944,379	3,461,957
建物・土地・構築物	2,551,129	3,358,842
機械装置・運搬具	35,090	54,841
その他	358,159	48,273
無形固定資産	82,649	60,673
投資その他の資産	1,256,681	1,114,366
投資有価証券	840,914	729,189
差入保証金	281,955	262,760
その他	133,811	122,417
<b>③ 資産合計</b>	<b>10,589,001</b>	<b>9,035,931</b>
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>5,084,479</b>	<b>3,366,088</b>
買掛金	1,643,357	1,018,616
短期借入金	2,230,000	1,250,000
1年以内償還予定社債	140,000	140,000
1年以内返済予定長期借入金	164,052	194,232
その他	907,069	763,240
<b>固定負債</b>	<b>2,012,750</b>	<b>2,445,833</b>
社債	160,000	230,000
長期借入金	1,300,789	1,741,085
その他	551,961	474,748
<b>負債合計</b>	<b>7,097,229</b>	<b>5,811,922</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>2,915,275</b>	<b>2,731,518</b>
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	1,519,075	1,335,304
自己株式	△26	△13
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>408,384</b>	<b>327,841</b>
少数株主持分	168,111	164,649
<b>④ 純資産合計</b>	<b>3,491,771</b>	<b>3,224,009</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,589,001</b>	<b>9,035,931</b>

## 要約連結財務諸表(四半期)

### 四半期キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:千円)

期間	2013.10~2014.3	2012.10~2013.3
科目	金額	金額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△479,599</b>	<b>68,546</b>
税金等調整前四半期純利益	561,565	489,804
減価償却費	104,252	96,285
売上債権の増減額(△:増加額)	△1,237,086	△739,454
たな卸資産の増減額(△:増加額)	△56,123	4,860
仕入債務の増減額(△:減少額)	624,741	477,734
その他	△476,949	△260,684
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>661,974</b>	<b>△379,925</b>
有形固定資産の取得による支出	△443,619	△445,179
その他	1,105,594	65,254
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>327,576</b>	<b>265,549</b>
短期借入金の純増減額(△:純減少額)	980,000	166,530
その他	△652,423	99,019
現金及び現金同等物の増減額(△:減少額)	<b>509,951</b>	<b>△45,829</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,709,866	1,496,038
現金及び現金同等物の四半期期末残高	2,219,818	1,450,209

## 要約単体財務諸表(四半期)

### 四半期貸借対照表(単体)

(単位:千円)

期別 科目	2014.3.31現在 金額	2013.9.30現在 金額
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	5,021,138	3,852,605
固定資産	3,615,752	3,003,278
有形固定資産	1,221,775	1,212,033
無形固定資産	33,431	38,876
投資その他の資産	2,360,545	1,752,368
資産合計	8,636,890	6,855,883
<b>【負債・純資産の部】</b>		
流動負債	4,606,039	2,924,507
固定負債	614,498	627,792
負債合計	5,220,537	3,552,299
純資産合計	3,416,352	3,303,583
負債純資産合計	8,636,890	6,855,883

### 四半期損益計算書(単体)

(単位:千円)

期間 科目	2013.10~2014.3 金額	2012.10~2013.3 金額
売上高	8,553,577	9,004,099
売上原価	6,844,610	7,197,968
売上総利益	1,708,967	1,806,131
販売費及び一般管理費	1,452,479	1,494,237
営業利益	256,487	311,894
経常利益	283,710	320,642
税引前四半期純利益	293,969	388,542
法人税・住民税及び事業税	138,438	160,600
法人税等調整額	14,283	17,568
四半期純利益	141,246	210,373

## 会社情報 (2014年3月31日現在)

会社名	株式会社エスケーアイ
主な事業内容	携帯電話販売
本社	愛知県名古屋市中区千代田五丁目21番20号
関東支社	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目8番 11号 KDX新横浜381ビル3F
設立	1991年3月
資本金	7億2,936万円

---

社員数	正社員 245名
	契約社員 67名

---

役員	代表取締役社長	酒井昌也
	専務取締役	酒井俊光
	常務取締役	田川正彦
	取締役	小島浩司
	常勤監査役	堀井潤子
	監査役	浅井一郎
	監査役	長谷川直人

---

IR連絡先	IR・広報グループ
	TEL 052-262-4748
	e-mail ir@ski-net.co.jp

URL	<a href="http://www.ski-net.co.jp">http://www.ski-net.co.jp</a>
-----	---

## 株式情報 (2014年3月31日現在)

株式の状況	発行可能株式総数	<b>40,000,000株</b>
	発行済株式の総数	<b>10,856,500株</b>
株主数	<b>1,321名</b>	

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社光通信	<b>2,106,100</b>	<b>19.39</b>
株式会社サカイ	<b>2,043,000</b>	<b>18.82</b>
酒井俊光	<b>749,000</b>	<b>6.90</b>
VTホールディングス株式会社	<b>644,800</b>	<b>5.93</b>
酒井昌也	<b>633,000</b>	<b>5.83</b>
ソフトバンクモバイル株式会社	<b>450,000</b>	<b>4.14</b>
肥田貴將	<b>282,000</b>	<b>2.59</b>
アイデン株式会社	<b>258,500</b>	<b>2.38</b>
株式会社トーシン	<b>219,000</b>	<b>2.01</b>
エスケーアイ従業員持株会	<b>211,100</b>	<b>1.94</b>

## 優待案内

当社は株主の皆様への利益還元の一つとして株主優待を実施しております。

### 携帯電話ご購入の割引

	株主優待券 額面3,000円
500株以上	1枚
2,000株以上	2枚
5,000株以上	5枚

優待券は携帯電話新規ご購入、機種変更の際に3,000円の割引券として、当社直営全店でご利用になれます。

尚、優待券のご利用に代えて、「社会福祉法人日本介助犬協会」及び医療機関への寄付をご選択いただけます。

このたび平成26年3月にお客様・当社グループ社員より寄せられた募金及び株主様(282名)より寄付としてお預かりしました株主優待券の募金総額143万4,403円を、「社会福祉法人日本介助犬協会」及び医療機関へ寄付致しましたことをご報告させていただきます。ありがとうございました。



## 株主メモ

### 決算期

9月30日

### 定時株主総会

毎年12月に開催

### 基準日

毎年9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

### 株主名簿管理人

日本証券代行株式会社

### 同事務取扱場所

〒103-0027 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社本店

### 同取次所

日本証券代行株式会社本店および全国各支店

### 貸借対照表および損益計算書のホームページアドレス

<http://www.ski-net.co.jp/bs/index.html>



〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目21番20号  
TEL.052-262-4499 FAX.052-262-1914

---

<http://www.ski-net.co.jp>